

ハンガリーのローカル線を訪ねて

-2009-初夏 後編

高島 伸幸

2009年5月17日(日)晴

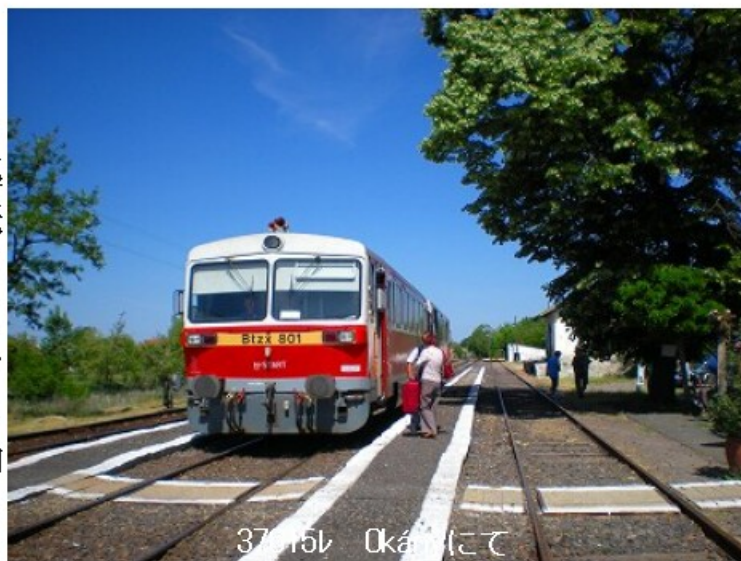
なぜ駅から離れた所なのに、ここへ泊まったかと言うと、ここは温泉の町だからです。早起きして朝7時からやっている温泉へ向かうと。既に老人が三々五々やってきて開場を待っています。フロントで料金を1200Ft(600円程)支払って入場します。ロッカー室で水着に着替えて、お兄さんに鍵を掛けてもらいます。温泉といってもプールのように、屋外もありますが、私は内湯で十分でした。一番温度の高い38°Cでまったりすると、お湯は茶色く油臭がして、食塩泉のようです。

この温泉は油田開発の際に出てきた副産物だそうで、この温泉棟のほか屋外には巨大なプールがあり、一日楽しめます。私は時間が無いので30分ほどで出てロッカーに戻り、係りのお兄さんに鍵を開けてもらいます。なお、この鍵掛けお兄さんにチップを払わなくてははいけない。

ホテルに戻って朝食を取ると、バスでは列車には間に合わないそうにないですが、タクシーを使えば間に合います。フロントにタクシーのステッカーが貼ってあったので、時間を指定し頼んでおきました。その間ゆっくり朝食です。パンのほかにハムエッグを付けてくれました。

会計をして迎えに来たタクシーで駅へ向かいます。基本料金は700Ftでその後10Ftづつ上がりました。チップも払いましたが意外と安く済みました。Hajdúszoboszló 8:48発6107Mに乗車。8人コンパートメントです。この列車の前にモスクワからの国際列車が来ましたが、さすがに乗れませんでした。

すぐにPüspökladányに9:06到着です。ここからローカル線乗り歩きです。まずは単行レールバスの9:13発37647Mに乗車します。程ほどの乗りでしたが各駅でだんだん降りてゆくと、とうとう貸切になりました。畑の中を右に左に淡々と走ります。結構スピードは出ました。



Szeghalom10:10着。10:13発37615Mに乗り換えます。来た車はIP用車両の2両編成で、車掌が「特急用車両ですがどうぞ。」とのこと。車内と外観こそ特急用で、バケット座席に冷房付きで固定窓とグレードは高いですが、所詮レールバスです。

来たほうへ戻り、右へ分岐。しかし速度が出ません。どうやら路盤が悪いようです。速度を出そうとすると揺れるのです。次の駅まで13kmを21分掛りました。乗客はほかに1名で、車窓は放牧地を抜けてゆきます。支線を分けるVésczőには小さな車両区があり、乗務員もここで交代しました。

次のOkányでは列車交換です。駅員が自転車に乗ってポイントを切り替えに行くと、駅長はハンドルを回し腕木式信号機の場内を進行にしました。するとトコトコとレールバスがやってきました。

ルーマニアとの国境駅Kötegyánに到着。列車はここで線形上のスイッチバックをします。停車時間で昼食を買って置くつもりだったのですが、先ほどの列車交換で遅れています。しかし、乗務員は到着列車の仲間に入出国管理官と駅長でのんびりおしゃべりの真っ最中。停車時間の5分はしっかり停車したので、売店で何か買えばよかった。

主要駅のGyulaから乗客も増えました。この停車時間で買い物をしようと思ったのですが遅れているのでカットされました。Békéscsabaに12:13到着して、12:15発37014に乗り換えます。こんどはレールバスとトレーラーの2両編成で5分遅れで発車しました。Kétegyházaまでは本線を飛ばして行きます。右に分岐してローカル線へ入ると速度が落ちて、放牧地や畑の中をトコトコ進みます。集落があると駅があって、乗客が降りて行きます。

Mezőhegyesに13:28到着しました。13:31発37325に乗り換えなのですが、これまたレールバスとトレーラーの2両編成で、同じ編成がもう1編成停まっています。どちらが目的の行き先かわかりません。いつも立っている車掌も見当たらず、乗り換え時間は3分しかありません。入口付近の乗客に尋ねて事なきを得ました。みんな親切です。

右へ分岐してゆきます。結構乗客は多く、この辺りのローカル線はほとんどの路線が2時間おきです。この路線も畑の中をトコトコ行き、集落があると駅があり、乗客が乗り降りします。

Orosházaに14:21到着。朝から3分乗り換えが続いていて、やっと乗り換え時間があり、一息つけます。しかし、駅にはバーどころか売店もありません。駅前には時間が止まったようなたたずまいで何も無いのです。少し歩くとバスターミナルが見えるので、そちらの方へ向かいます。

バーはあったのですが食べ物は見当たりません。仕方なく瓶ビールを飲んでいたら酔っ払いのおやじが寄ってきて何か話しかけてきます。



37454 Fábiansébestyénにて

言葉が分からず困っていると、なぜかビールを1本おごってくれました。でもそんなに飲めません。

駅に戻り14:55発37443は単行のレールバスに乗客は数名です。この路線はなぜか運転本数が少なく一日5本です。本線から右にカーブし畑の中を行くと、レールが短い。ジョイント音がタンタンタンと。揺れるしスピードが出ない。しかしこれはなかなか楽しい。

途中駅で交換です。構内は草生していてレールが見えません。見えてもへろへろしています。まず、一人勤務の駅長は今来たポイントを切り替えに行きます。戻ってくると対向列車の場内信号機を進行にします。対向列車が到着するとバイクにまたがり、反対方向のポイントへ向かい切り替えると、戻ってきてから双方の列車を出発させました。

Szentesに16:20到着。乗り換える16:29発7234はステンレスの2両組みの気動車で、冷房がついています。折り返しに時間が掛かり5分遅れました。しかし車内のいすがいただけません。背もたれの低いFRPのベンチに座布団が付いているだけ。これで長距離はきついなあ。

Hódmezővásárhelyi Népkertに5分遅れの17:07に到着です。17:05発7723に間に合うか心配しましたが、相手も5分遅れてきました。DLが客車を牽引する編成で、モケット張りの8人コンパートメントでした。

Szegedに17:37着。ネットで予約したホテルは中心街にあります。トラムに乗り向かいますが、乗車券を買わなければなりません。迷い方に書



ソ連製気動車 Orosházaにて

いてあるきっぷ売り場は見当たらないので、売店に聞くと降車口の階段の脇にあるという。トラム乗り場に気を取られていて気付きました。トラムに乗り込み乗車券に刻印します。しかし、差し込んでも改札されないの、迷っていると近くのおばさんが手前に引けと実演してくれました。みんな親切です。

ホテルの最寄の電停に下車します。反対方向から古いトラムが走ってきました。普通に一般の人が乗車しており、車掌も乗っています。今日は日曜日だから運行しているのでしょうか。

ホテルに着くとフロントの人がいません。しばらく待つとやってきたので、チェックインしようとする、と、「こちらの手違いで予約が入っていない。今日は満室でこのホテルには泊まれない」と言う。即刻抗議をして別のホテルを紹介するようお願いすると、ちゃんと電話を掛けて確保してくれました。地図も書いてくれて助かります。

代替のホテルは入口こそ分かりにくいですがすぐに見つかりました。しかし鍵が掛かっている入り口が開きません。すると通行人がドアの上にある呼び鈴を教えてください。みんな親切です。呼び鈴を押すと上から爺さんが顔を出して、おばあさんが鍵を開けにきました。

まずは料金の確認です。ほぼ同額でしたがクレジットカードは使えません。パスポートは翌朝まで預かります。というシステムでした。鍵をもらい部屋へ向かうと、ここでもなかなか鍵が開きません。そうすると隣の部屋の女の子が開けてくれました。最後にコツがいるらしい。



7723v Hódmezővásárhelyi Népkertにて

みんなとても親切です。バスタブにトイレ、それにキッチンが付いていて、これで約5000円程でした。なお、入口の鍵は部屋の鍵と一緒に付いていて、外出の際に鍵を開け閉めします。

部屋に荷物を置き食事へ出かける。その前に宿代のお金を下ろさなければなりません。銀行へ寄り、ちょっと中庭に入ったレストランへ入ります。ハラスレーというハンガリーの郷土料理を食べます。魚の煮込みスープで、カープ(鯉)とキャットフィッシュ(ナマズ)に白身魚と3種類あったのでなまずを食べることに。これが全然生臭くなく、とてもおいしかった。

公園ではたくさんのお店が出ており、各ブースではワインを少量づつ量り売りしていて、みんなにこやかに飲んでいる。そうかワイン祭りが行われているのです。雰囲気だけ楽しみホテルへ戻りました。

2009年5月18日(月)晴



7827v Kiskunfélegyházaにて

ここセゲドにも温泉があります。6時からやっているの、早起きして向かうと正面の入口は鍵が掛かっています。脇のから皆さん入ってゆくの、そちらから入ると入り口がありました。お金を払おうとすると処方箋か会員証の提示を求めます。おかしいなあと思い正面脇の営業時間をよく見ると、ビジター(一般)は平日は午後から土休日は8時からと書いてありました。

ホテルに戻り朝食を食べてチェックアウトしてトラムで駅へ向かい、Szeged 8:44発IC717に乗車します。ICは全席指定と聞いていたのでわ

ざわざ指定券を用意しました。しかし実際にホームへ行ってみると指定席車両は前2両だけで、バケットシートで冷房も付いていましたが、その後ろに自由席らしい一般非冷房車両をたくさん連結していたのです。

なおこの路線、ICは1時間おきなのに各駅停車は4時間おきというかなり格差のあるダイヤです。電化はされていますが単線なので、途中駅で交換待ちです。しかし相手のICはなかなか来ません。この先の乗り継ぎが微妙なのでハラハラします。

Kiskunfélegyházaに10分遅れの9:40に到着しました。乗り換えの9:45発7827WはELが2両の客車を牽引します。定刻に発車したのですが、乗り換えの1つ手前の駅で交換相手の機関車の調子が悪いようで動きません。何回かパンタグラフを上げ下げしているうちに生き返りました。そして何事も無かったように10分遅れで発車。しかし、次の駅の乗り換え時間は定時でも7分しかありません。さて、1日3本のローカル線は待っていてくれるか？

Kiskunmajsaに10分遅れの10:16に到着しました。構内の片隅に小型DLと小さな青い客車を連結して待っています。Kiskunmajsa KK発10:11発31725Wは10分の遅れで発車しました。乗客は買い物かごを持ったおばちゃんとお姉さんと私だけです。車内のいすは木製のベンチ。そして大型のストーブが置いてあります。荷物室もあり、ハニフでしょうか。

ゆっくり動き出しますがそのままスピードは上がりません。ナローの本駅らしき場所を通過



31725W Kiskunmajsa KKにて

すると。古めかしい機関庫もありましたが使われて無い模様。しばらく灌木の中を進みます。不思議と地面は土ではなく砂です。路盤は薄くてレールはへろへろ。終点までの52kmを2時間30分掛けて走ります。平均速度は20km/h程。

畑の真ん中に何かの井戸があり、その近くにタンクがあります。どうやら石油か天然ガスを産出しているようです。畑や放牧地に林が続く。たまに集落が現われ、駅がありますが、大半は何も無いところに待合室が現われる駅が多い。

整備されたキャンプ場などが広がる比較的大きい集落の駅に着きました。買い物かごを持ったおばちゃんは降り、自転車旅行中のお姉さんは乗務員と降りる駅を打ち合わせています。どうやらこの辺りは国定自然公園に指定されているらしく、その旨の看板がところどころに立っています。

次の駅でお姉さんは降りるらしい。何も無い草原の真ん中の停留所に到着して、あっちのほうだと説明を受けている。しかし、このお姉さんは降りなかった。だって何もないんだもの。今度は、しばらく走ると駅でもないところでゆっくり止まりました。すると自転車に乗った親子が乗り込んできました。身なりは汚く、くず鉄を拾い集めているようです。

しばらくすると舗装された地方道が併走し始めました。交通量が多く、どんどん車やバスに追い抜かれます。もう一路線と合流する駅に到着すると、車掌は無人の駅舎に鍵を開けて入り、ノートに何か記入しています。閉塞の取り扱いでしょうか？。高速道路のインターチェンジの脇



31716W Kecskemet KKにて

を抜けると市街地が広がり、終点Kecskemét KKに12:48着きました。Kecskemétの本駅とは全く違う場所にあり、中心街へもバスに乗り換えて行かなければなりません。

折り返し時間があるので昼飯を食べようと近くのバーに入り、食堂の場所を教えてくださいました。1kmぐらい歩いて、工場の門前にビュッフェ形式の食堂がありました。見本で展示してあった定食とビールを頼みます。ああ、ビールがうまい。定食は羊肉のソテーにライス添え。サラダはどうだと聞いてきたのでキャベツの酢漬けを頼んでも500円しませんでした。

駅に戻り、待合室で休息。2路線3往復しかない路線ですが立派な待合室がありました。きっぷは車内で買うようで、窓口は閉鎖されています。ここも地方鉄道ですが、車両や乗務員はハンガリー鉄道が行なっています。レイルパスも使えました。14:23発31716は先ほどと同じ編成で他に乗客は無く貸切で発車しました。車掌はラジオを聴いていて時折笑っています。分岐駅へ来るとポイントの手前で一旦停車し車掌が降りました。ポイントを切り替えると手招きをして列車を通します。またポイントを元に戻して乗車しました。

右へ分岐して林の中をしばらく進むと、道路沿いを走るようになります。小学校や教会があり、線路脇を歩いている人や自転車に乗っている人が見られます。道路はいつの間にか未舗装となりますが砂利道ではなく、砂です。雨が降ったら車は走れないでしょう。辺りはイチゴやぶどうの畑が広がり、人家がなくなると草原となり、放牧地が広がりました。この辺りも国立自然公園に指定されているらしく、立て看板が立っています。

人家が増えてきて、学生が数名乗ってきました。この路線も54kmを2時間30分掛けて走ります。やはり平均速度は20km/h程です。終点のKiskörös KKに17:00到着なのですが、到着前にすぐ目の前に駅は見えているのになぜか場内信号に引っかかりました。信号が青になり、走り出すと左から回り込むように本線を横断して駅前に到着したのです。(現在この地方鉄道2路線も廃線済)

ここで約1時間待ち。駅には何も無いが、バス



草原の中をゆく 並行道路は未舗装

ターミナル前にはスーパーがあり、バーもあります。まずはバーでビールを一杯飲み生き返ります。そしてスーパーで水を買ってしばらく駅の待合室でぶらぶら。そして、18:01発796に乗車すると、ELが2両の客車を牽いています。

Kiskunhalasに18:33に到着です。18:37発796に乗り換えるので、時間が少なくなのであせりませんが、発駅から遅れていて今着いたらしく、ELからDLに機関車を交換中でした。2両の客車を牽いています。念のため、車内のおばちゃんに行き先を確認します。右に分岐すると、夕暮れの中列車は走ります。畑が広がり、集落があると駅があります。それを繰り返して、Bajalに19:42到着です。

ここもホテルはネットで予約しています。事前に印刷した地図を見ながらホテルへ。フロントで受付し、鍵を受け取ると別棟の建物へ案内されました。ここの入口も別に鍵があり、宿泊者が開け閉めします。レストランの位置を訪ねると身振り手振りで場所を教えてくださいました。ここも親切です。部屋はダブルルーム。シャワー・トイレつきで5800円程でした。

食事を取りに街へ出かけます。中心街の広場まで出ましたがカフェばかりでレストランが見当たりません。ドナウ川の川岸まで来てふと右手を見ると川岸にレストランが並んでいます。ここが教えられた場所でした。なぜか入ったレストランはメキシコ料理店で口に合わず半分しか食べられませんでした。

2009年5月19日(火)晴

宿の朝食を食べ駅へ向かいます。駅のバーで水を購入して、BaJa7:43発7829Lに乗車します。DLが牽引する2両の客車からは学生がたくさん降りてきました。すぐにドナウ川の鉄橋を渡ります。真ん中を単線の線路が、その両側が車道になっています。客車はドイツ鉄道の近郊輸送に使われている客車と同じタイプで色も一緒です。

路線の分かれるBátaszékでしばらく停車しました。新緑の丘陵地を右に左にたどります。今までの平原とは違う地形です。しかし、カーブの手前で十分減速するのはなぜだろう。乗客は少なく、ボックスに1人いるかいらないか。

ジャンクションのDombóvárで電化区間に入るためELに交換しました。ついでに進行方向も変わり、そしてこの先Kaposvárまで40分停まりません。なぜか次の停車駅から乗客がたくさん乗ってきて座席は埋まりました。ここからまた各駅停車になります。各駅に少しづつ乗客が降りて行き、Somogysozob11:44到着です。

乗り換えの12:35発38914Lの発車まで少し時間があるので昼飯でもと思ったのですが、この駅何もありません。ちょっと歩いて集落の中心へ行きましたが、食料品店はお昼休み中でした。その先にバーはありましたが、食べ物は無いようなので。仕方なく駅に戻ります。

乗車予定の列車はレールバスがトレーラーを引く2両編成です。しかし、エンジンが掛からないうらしく運転士が携帯電話片手に修理しています。発車時刻を10分ほど過ぎた頃突然エンジン



右が7829L Maza-Szásvárにて

が掛かり出発です。この路線も1日5本の閑散路線で、乗客は少なく、沿線は畑より林が多い。それでも途中で列車交換がありました。(現在は廃線になりました)

バラトン湖沿いの電化幹線に合流する前の駅で抑止です。車掌が何か乗客に説明していますが、本線の普通列車に不接続にでもなったのでしょうか。Baia-ton-szentgyörgyから支線に分岐して、白く濁っている湖沿いを進みます。

Keszthelyに24分遅れの14:55Lに到着。15:00発9616Lに乗り換えます。しかし、飲食物はこの駅で購入しないとこの先食いはぐれる恐れがあるので、構内の売店で急いで缶ビールとサンドイッチを買って乗りました。

列車はレールバスの4連です。乗客は少なく、貸し切り。しばらくは湖岸沿いに進む。路線の合流するTapolcaで接続待ちをすると乗客が乗り換えてきました。交換予定の列車は到着せず、なぜか次の駅で交換しました。対向列車が遅れているようです。

両側に山地が広がり、勾配をどんどん上がってゆきます。山の上にお城が見えるSümegで交換待ちとなりました。しかし駅長が両手を挙げて出てきました。交換列車がいつやってくるかわからないようです。40分ほど待つとようやくやってきました。飲み水が無くなり困っていると、隣の非番らしい鉄道職員の方が、1リットルの水を分けてくれました。半分もらって返そうとすると、もう一本あるから大丈夫とのこと。本当にハンガリーの人は親切です。

亜幹線との合流駅Ukkが近づくと左手から電化



大幅に遅れた9616L Tapolcaにて

線が寄ってきました。その線路上では工事を行っています。遅れの原因はこれです。この駅での20分の停車時間を差し引いてもまだ遅れは回復しません。次の分岐駅Bobaでのブタペスト方面の列車への乗り換え時間は7分です。待っているかなと到着したBobaですが、接続列車の陰も形もありませんでした。車掌がここで降りても仕方ないから乗り続けろと言われます。

終着Celldömölkに25分遅れの17:30に到着しました。駅のバーでコーヒーを飲みながら時刻表で行程再検討です。ここから急行でGyőrに出ればECでブタペストへ行けることを発見。当初の予定より1時間遅くなるだけです。18:06発9201に乗車します。DLが客車を牽引し、夕闇迫る中主要駅に停車しながら疾走します。

Győrに19:15定時に到着。19:20発rj67は最新のレイルジェットでした。車内はきれいで座席に電源も付いていて車内モニターには速度や走行位置が表示されます。しかし、食堂車がbuffetとなり、ちょっと立ち席では行きたくありません。指定券を持たずに乗車したので空席に座ります。それでもレイルパスなら追加料金不要です。

車窓は暗くなってきました。この区間は最初に乗った区間なので面白みはありません。夕日を眺めながらBudapest-Kelenföldに20:34到着です。ここから市電49系統でホテルへ向かった方が乗り換えなしで到達できます。

乗車する乗り場は分かったのですが、きっぷ売り場が分かりません。あちこち聞くと電停の前の売店で売っていました。乗り込むとすぐに



一番左が急行9201 Celldömölkにて

発車しました。市街地を進み、ドナウ川を渡る自由橋が工事中で車は通行止めでしたが市電は渡れます。渡ったところの電停で下車します。レストランが広がるにぎやかな通りから一本外れた路地にホテルはありました。

看板が無いので最初は分からなかったのですが、入るたびに呼び鈴を押し、鍵を解除してもらうシステム。部屋は初めてのシングルルームで(今まではツインかダブルでした。)部屋は狭いが機能はそろっていて、きれいです。周りも静かで良い。迷い方にあるレストランから選んで夕食に出かけると、今夜は鶏肉のリゾットみたいなものにサラダをつけて。なかなかいけました。

2009年5月20日(水)晴

起床後まずは朝風呂。ドナウ川を渡り歩いて6時からやっている川岸のルダシュ温泉へ。フロ



郊外電車HEVのCsepe Iにて



子供鉄道の乗車券



ブダペスト市交の一回乗車券

ントで2500Ft支払い更衣室へ入ります。入場の際に布製の前掛けをくれました。更衣室がキャビンという個室になっており、この中で着替えて荷物を置いて鍵を掛けます。風呂はドーム状になっていて窓はありません。浴槽は温度別になっていて、38℃の浴槽でくつろげました。現地の人はおしゃべりに夢中です。

1時間ほど湯船につかり、着替えて出ます。ここは時間制で、出口で出てくるレシートに返金額があればフロントで返金されます。ホテルに戻り朝食をいただいてチェックアウト。最寄の地下鉄kálvin tér駅でまず1日乗車券を1500Ftで購入します。これで市内は乗り放題なので検札も怖くありません。

まず、地下鉄3号線で荷物を帰りの空港方面の近郊列車の始発駅であるブタペスト西駅の荷物預かり所へ預けに行きます。ホームへのエスカレーターを降りるところで検札。これでは改札と同じです。

来た電車は一目で旧共産圏の車と分かる規格型です。吊り掛けモーターを唸らせて走ります。西駅で荷物を預けて身軽になると次は郊外電車HÉVに乗りに行きます。駅前からトラムの4・6系統に乗車すると低床式の新型車が使われています。ベトウフィ橋のたもとのBoráros térで下車して。川岸の駅からのCsepel行きに乗ります。

ちょうど前面の丸い緑色の旧型車が停車中で、発車すると車端の箱からカチャカチャカチャと間接制御器の音が、そしてつり掛けモーターの唸る音がします。ドナウ川の岸辺を走り、築堤の上に上がってゆきます。工場地帯を通り抜け



登山電車 Széchenyihegyにて

て、地平に降りると道路の真ん中の専用軌道を走ります。住宅団地に囲まれ道路から離れると、車両基地もある終点Csepelに到着です。所要13分ほどでした。

一駅歩いて戻り、道路上の駅から乗車してみます。帰りは前面平面の電車で、製造年も2年しか変わらないからか、走りは一緒でした。Boráros térに戻り、6系統のトラムでドナウ川を渡って、Móricz Zsigmond Körtérで交差点を渡って61系統に乗り換えです。モスクワ広場から2つ目の電停で降りると登山鉄道の駅に着きました。

Városmajorから2両編成の電車に乗ります。60系統という路線番号が割り振られていて、市内交通として使われています。住宅地の広がる山をラックレールでぐいぐい登ってゆくと、単線なので途中駅で交換します。なお、ワンマン運転のようです。

終点のSzéchenyi-hegyに到着しました。左手に道路を渡り5分ほど歩くと子供鉄道のSzéchenyihegy駅に着きます。この鉄道はハンガリー鉄道線なのですが、運転士など一部の業務以外は青少年で運営されています。市営ではないので1日乗車券は通用しません。窓口は大人の女性で終点のHüvösvölgyまで600Ftでした。

DLが2両のオープン客車を牽引します。子供の発車合図で発車。子供の車掌が回ってきて検札。非自動閉塞なのか腕木式信号機などがあり、なかなか楽しめます。途中駅でも交換があって、監視している大人が1人くらい居るようですが、子供が発車合図やポイントの操作を行っています。始発駅が頂上のように勾配を少しづつ下っ



子供鉄道 hüvösvölgyにて

てゆくと、40分ほどで終点hüvösvölgyに到着しました。

ここから市電61系統で山を降ります。専用軌道走り、結構飛ばすのに驚きました。モスクワ広場に戻ってくると、ちょうどお昼なのでレストランへ入ります。魚のフライを頼むと付け合せにゆでたジャガイモが皿に敷いてあったので、こちらの人はそんなに食べるのかと感心しました。

地下鉄2号線でデアーク広場へ向かいます。ここで1896年開通の地下鉄1号線に乗り換えると、浅いところを走っていて、トラムより短い小型車両2両編成です。セーチェニ温泉駅で下車して階段を上がると市民公園の中に出ます。まずは歩いて交通博物館へ。しかし、内容が物足りません。疲労感もあって、セーチェニ温泉へ行くことにします。ちょうどトロリーバスがやってきたので乗車して、温泉前で下車します。

かなり立派な建物です。入り口でお金を払うときキャビンかロッカーか聞かれました。もちろんロッカーで充分です。時間制で2800Ftでしたが、ここは水着に着替えます。中庭に出ると露天風呂ではなく温泉で満たされた広い屋外プールがあります。その向こうの温泉棟に内湯があり、温度別の浴槽になっていて38℃の浴槽が温泉成分も濃いようで心地よい。みなさんなぜか泳ぐんだなあ。静かに入れないのかなあ。

2時間位くつろいで出るとレシートに返金額がありました。温泉前から72系統のトロリーバスでブタペスト西駅へ行きます。荷物を預かり所から荷物を出して整理します。普通は地下鉄3号線の終点から200系統の空港バスで向かうのですが、ここ西駅から鉄道線を利用し、Ferihegy駅から200系統のバスを使ったほうが速いようです。

Budapest-Nyugati16:38発2626Vに乗車します。Ferihegyに17:01到着すると駅は無人駅です。なお、鉄道にも市の一日乗車券が通用しました。跨線橋を渡って、第2ターミナル方面の指示に従うとホームの反対側へ出ます。でもそこがバス乗り場でした。すぐにバスが来て、これも1日乗車券が使えます。10分ほどで第2ターミナルに到着です。

チェックインカウンターは長蛇の列で。まず、



喫茶店でコーヒーを一杯いただきます。エールフランスの航空券なのですが、パリまではハンガリー航空の機材なのでハンガリー航空のカウンターでEチケットを示してチェックインすると成田までの搭乗券を発行してくれました。

成田までの搭乗券を手でセキュリティチェックへ。日本では大丈夫なのに、なぜか海外ではズボンのベルトも外します。それでも時間があるのでカフェで缶ビールを飲んで搭乗案内を待ちます。この空港は乗客があふれていて、座るところが少ない。乗客の数に比べ小さいように感じました。

Budapest19:25発AF2795便にバスで搭乗します。機内ではサンドイッチが出ました。トカイワインがあったので白を頼むとまろやかでおいしい。Paris(CDG)へ21:45到着です。

ターミナル2Fへひたすら歩きます。出国手続きのゲートでスタンプをもらって再度セキュリティチェックへ。搭乗口の周りには日本語があふれています。Paris(CDG)23:35発AF278便に搭乗して夕食をとると睡魔が襲い、耳栓をしてひたすら寝ていました。

2009年5月21日(木)曇り

朝食を食べる頃にはすでに日本海上空で、定刻より30分早い17:30に成田空港へ着陸しました。今回は新型インフルエンザの影響で検疫が厳しくゲートが出来ており、質問表を提出して検疫証明書をもってから入国審査です。18時過ぎの特急に飛び乗り上野へ向かいました。〈完〉